

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 奈良市立柳生小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例: 小中高一貫 )  
所在地 〒630-1231  
奈良市柳生下町138  
E-mail yagyuu-e@naracity.ed.jp  
Website \_\_\_\_\_  
幼児児童生徒数 男子 22名 女子 26名 合計 48名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「心豊かで、自ら学び・自ら考える力を持ち、たくましく生きる子どもの育成」を教育目標とし、ESDを夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜くことと捉え、ESDの実践を通して「夢を描き自ら前へふみ出す力」の育成を目標とした。

### ①「平和学習」に関わる活動

6年生では、修学旅行の事前学習として平和学習を行った。原爆ドームや平和資料館を訪問し、平和な社会の創造について考えた。学んできたことを、全校の前で発表した。

### ②「世界遺産学習」「国際理解」に関わる活動

5年生では、奈良市の世界遺産学習を生かし、国立博物館、興福寺及び東大寺の見学を行い、古都奈良の文化財に触れた。また、奈良公園に観光に訪れた開国の方に、英語でインタビューを行った。学んできたことを、学習発表会で地域や保護者の方々に発表した。

### ③道徳に関わる学習

毎月1回、その月の担当の教員が全校児童を対象に1時間の道徳の授業を行い自己肯定感や高齢者・障がい者理解、生命の大切さなどを全校で学んでいる。



平和学習報告会



世界遺産学習



世界遺産学習



全校道徳

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教科横断的な視点で教育課程の中に位置付け、活動当日の取組だけを重要視するのではなく、事前・事後の学習を大切に考えたPDCAのサイクルで指導方法の改善に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

小規模校の利点を生かし、改善点は担当者だけのものではなく、学校全体のものとして継続していけるように取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

一刀石、天乃石立神社、正木坂道場、芳徳禅寺、陣屋跡、家老屋敷、十兵衛杉など、徳川家の指南役であった柳生藩ゆかりの遺産や遺跡を今まで以上に教材として活用し、校区の素晴らしさを発信していくことが今後の課題である。

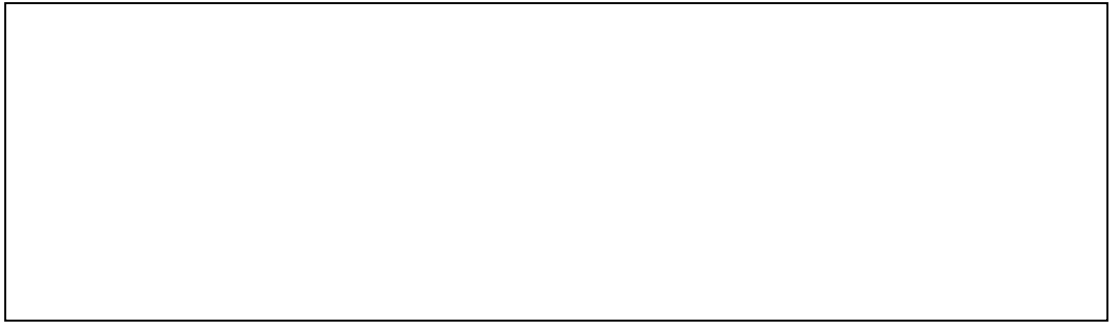
- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域のガイドマップを作成に、農協や郵便局の置いていただくことにより観光客や地域の皆様に柳生地区の素晴らしさを発信していくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応



(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

奈良市が掲げている「教室と社会をつなぐ」を学校ビジョンの中に取り入れ、柳生地域を誇りに思える児童の育成をテーマに地域の遺産、遺跡を教材化していく。そのためには、教員が地域の素晴らしさに気づくことが大切である。そこで、今年度は「もの」としては、地域教材の発掘を行い、「ひと」としては、地域の方々との繋がりを深めるための交流会を実施していく。